

# 思ったままを！

国枝史郎

青空文庫



文学成長の道程の中に外国文学模倣時代という時期がある。この時期は成<sup>な</sup>る丈<sup>た</sup>け早く通過すべきである。日本探偵小説の如何に長くこの時期にウロツイていることか。笑<sup>べ</sup>う可<sup>べ</sup>きである。

○

僕には相当探偵小説家の友人がある。彼等の話を聞いていると軽蔑したくなる。「こういうトリックは如何さまのもので」「面白うござんすな、すぐにお書きなさい」「こういう奇抜な筋があるので」「こりや素晴らしい、急いでお書きなさい」「こういう怪奇はどうでしょう?」「ウーン、迎<sup>とて</sup>も素晴らしいものだ。君々いそいで書きたまえよ」こんな話ばかりを交わしている。しかも彼等の輩は、それらのトリックそれらの筋それらの怪奇を書<sup>く</sup>くことによつて、何を人生に寄与しようとするのか、そういうことは考えてもいない。

○

人生の再現、人生の創造——いずれも文学の目的である。探偵小説は、どつちかといえ<sup>ば</sup>、人生の創造という言葉にあてはめてよい文学である。——人生の創造ということは、実人生と遊離している世界を創<sup>つて</sup>、読<sup>者</sup>を嚇<sup>おそ</sup>かすことでは無い。人生を向上さす可<sup>く</sup>ユ

トピアを創る謂なのである。日本の探偵小説家の輩はそういうことを知らない。

# 青空文庫情報

底本：「国枝史郎探偵小説全集 全一卷」作品社

2005（平成17）年9月15日第1刷発行

底本の親本：「猟奇」

1929（昭和4）年1月

初出：「猟奇」

1929（昭和4）年1月

入力：門田裕志

校正：Julki

2013年11月5日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 思ったままを！

国枝史郎

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>